

生き物いっぱいプロジェクト

副校長 岡元 大輔

日野市では、今年度から第4次日野市学校教育基本構想をスタートさせました。特に、学校と地域との関係性においては、各地域において学校・保護者・地域とが一体となって児童の育成に取り組むプロジェクトを推進します。

本校は、日野市におけるコミュニティ・スクールのパイオニアとして、保護者・地域と密接に関わりながら教育活動を展開してきました。これまでの実践を基盤に、さらに活動を充実させていくために、今年度は学校・保護者・地域が協働して「生き物いっぱいプロジェクト」に取り組みます。

プロジェクトの目的は、「児童が花の栽培や農業体験、用水での遊び等に取り組む中で、生き物を慈しむ心を育むとともに、農業の大切さや大変さを実感する」ことです。そのために、これまで地域の皆様にご協力いただき、以下の取組を行ってきました。

- ・校庭の芝管理（みどりの学舎応援隊、保護者の皆様）
- ・全校「一人一鉢」栽培（地域の皆様、校友会、保護者の皆様）
（5・6年：菊、4年：コスモス、3年：パンジー、2年：ミニトマト、1年：あさがお）
- ・農業活動の体験を通した「食」への感謝と正しい知識の理解（地域の農家の皆様）
（5年：稲作体験、3年：梨園見学・東光寺大根を使ったたくあん作り、
2年：玉ねぎの種まき・収穫）
- ・用水遊びなどの自然体験活動（1・2年生：用水遊び、4年：用水調べ）

これらの活動を通して、児童に東光寺小学校周辺の地域のよさを再発見させるとともに、地域とのつながりを実感してもらうことで、児童が東光寺地区に対し、ふるさととしての実感と誇りをもってほしいと思っています。今年度も、児童の成長のため、学校・保護者・地域が一丸となり、子供たちの成長に力を尽くせる環境を築いていきたいと思っています。よろしくお願いします。

【安全・安心部】 「スローガン」

3月の学校運営協議会において学校経営重点計画評価シートの解説を聞いていた際、「地域の領域（コミュニティスクールとして）」の部分で、代表委員会（4～6年生クラスより選出）が作り上げたスローガンに目が止まりました。「このスローガンが地域の皆様に知られないのはもったいない。何か策はないか。」と思い、児童の思いをもっと広く発信するために、私たちに何か出来ないか考え続けていました。

後日、担当の先生に活動の様子を伺ったところ、「スローガン作成は新学期、各クラスに「目指す学校は？」と考えさせ、クラスで思いついた言葉を話し合ってクラスの提案をまとめます。次に代表委員会に各クラスの案を持ち寄ってさらに話し合い、全学年が分かりやすいスローガンに作り上げ、全校に発表・校舎内に掲示しています。」とのことでした。担当の先生が「頑張って作り上げているのですが目立たなくて。」と話されていたのを聞き「先生も私たちと同じ思いなのか。」と印象に残りました。

出来上がったスローガンは昇降口付近に掲示してあり、諸々のポスター等に埋もれている状況を残念に思っていました。正門に面して3階の渡り廊下の窓枠のことを思い出し、「掲示する場所があった！」と気付きました。この場所は5年前、コロナ流行の対応策により卒・入学式の簡素化が余儀なくされ、祝意を伝える手段としてメッセージを作成し、掲示した場所です。当初、掲示を学校側に打診した際は、感染症対策のため校内に児童以外の立ち入りを制限していた時期だったこともあり、学校に難しい判断をお願いしました。その時は、厳しい条件等を申し合わせの上、校内での作業を実施しました。作業を担当した安全安心部・校友会有志の皆様は、現在も卒・入学式のお祝いメッセージ掲示に携わっています。

そこで、私は「お祝いメッセージの掲示期間終了後に、スローガンを大文字に起こして掲示すれば、大々的に発信出来るのではないか。」と学校に提案し、スローガン掲示に取り組みました。

そして、5月下旬に今年度のスローガン「思いやりの心をもって助け合える東光寺小学校」を掲示することが出来ました。掲示出来る文字数に限りがあるため、学校側で何度も手直ししてくださったことに感謝しております。出来上がったスローガンを見て、『『特別の教科 道徳』に力を入れて取り組んでいる本校ならではのスローガンだな。』と嬉しく思いました。

文字に使った花の色は、太陽を表すオレンジと大地を潤す日野用水を表す水色です。次年度に向けては、委員会が主体となって積極的に声掛けをし、テーマカラー決めやお花紙の作業等を進められるよう協力していきたいと思っています。この地域で生活する私にとっても心掛けていきたいスローガンです。

（三好 啓子）

【学習部】

東光寺小には「こぼんた」という読み聞かせのボランティアサークルがあり、1年生から6年生までの読み聞かせをしています。「こぼんた」は三小の「ぼんた」という読み聞かせサークルさんの協力で2007年4月に発足しました。以前三小で教壇をとられていた先生が東光寺小に副校長として着任された年に、「ぼんた」のメンバーの1人が副校長に会いに来られました。その時、副校長だけでなく、当時の校長と地域コーディネーターを含めた4人で話したそうです。そして「ぼんた」が話題に上がった時にコーディネーターが「東光寺でも読み聞かせをやりたい。」と声を上げたことがきっかけで発足しました。ただ、ぼんたさんからノウハウは学んだところで人材確保が課題となりました。そこでぼんたさんが、三小と東光寺小は兄弟姉妹みたいなものだからとメンバーを数人派遣してくださいました。それでも5月後半には、本校の保護者が頑張っ

てボランティアを募り輪を広げた事で、自力で人材を確保する事ができるようになっていきました。発足から17年経ちました。コロナ禍は出来ない時もありましたが、形を変えながら続けてきました。徐々に輪も広がったり世代交代をしたりしながら現在も続いています。現役の保護者の方のみならず、お子さんが卒業した保護者の方や地域の方々に参加していただき、月に4回ほど読み聞かせをしています。

自分で選ぶのとは違う本に出会って少し世界が広がったとか、読み聞かせをきっかけに本を好きになったという感想を聞くとやっていてよかったなと思います。また、参加されているボランティアと児童が顔見知りになってコミュニティの輪が広がっていくのも嬉しく思います。今後ご協力お願いいたします。

(キリノ 和子)

【環境部】 ～子供たちを育む芝生管理と校内清掃～

環境部では年間を通しての芝生管理作業と3学期に卒業生と新入生の歓送迎としての校内清掃の活動を行っています。この活動には日頃より保護者の皆様、地域の協力団体の皆様、学校の先生方、そして東光寺小の子供たちやその他多くの方にサポートをいただいております。たいへん感謝しております。

今年度よりPTAの新体制ということもありサポートをしてくださる皆様の関わり方や手順も新しく変わる事もあるかと思ひます。しかしながら子供たちを育む豊かな校庭作りという目的は変わらずに笑顔で楽しく行っています。多様性の時代、様々な考え方があるかと思ひますが多数のご参加をお待ちしております。

○東光寺小学校の芝生管理

東光寺小学校ではスポーツターフ（ゴルフ場や競技場など）の芝生管理と違い「学校校庭にふさわしい芝生管理」を行っています。芝生の緑一色の綺麗なゴルフ場の様な芝生管理でなく、雑草、草花の混在する芝生管理となっています。春にはタンポポやシロツメクサが顔を出しますし、またハクセキレイやムクドリといった鳥も芝生に餌を食べにやってきて、子供たちの心を和ませてくれます。

とはいうものの雑草が繁茂すると芝生に影響が出るので、定期的に芝生を刈る事や草取りをして雑草の生長を抑制する事でバランスの良い緑の校庭になるよう管理しています。

○芝作業はみんなで一緒に！！

東光寺小学校の芝作業は色んな人達が集まってやっています。普段はなかなか会えない様な様々な人、同じ学年の保護者、いつもは話す機会が少ない校長先生や副校長先生、また他のクラスの先生など、この場でしか交わせない会話もある事でしょう。また近年子供と一緒に保護者がファミリーで参加する姿も見受けられます。お家とは違った家族交流の場となっている様で、親子でイキイキと笑顔で芝作業に取り組む姿は微笑ましいものを感じます。子供は普段と違った親の姿を見て頼もしく感じている事でしょう。

安全管理には十分気を付けて運営しております。スタッフが指示する注意事項はお聞きください。またこの活動は日野市の傷害保険にも適用されております。ぜひ、みんなで一緒に子供たちの育成を応援する豊かな校庭をつくって行きましょう。

(速水 亨)

【写真は本年度の芝管理作業の様子です。】



副校長先生の挨拶とスタッフによる本日の作業内容の説明。



草取りと自動芝刈り機（遠くに親子で参加して下さっているのが見えます。）



肥料まき(年1～2回の作業です。子供たちが楽しくやっています。すぐ後ろでお父さんがサポートをしています。)



校長先生の終わりの挨拶。(最近の学校の様子や様々な情報も合わせて話して下さいます。)